

IoT 時代の脅威から現場をまもる 日立のセキュリティ・運用ソリューション

日立が長年培ってきた OT と IT の実績を生かして、課題への対策をご紹介します

課題	設置当時の台帳更新ができておらず、現場のどこに、どんな機器があるのか把握できていない
対策	機器の把握と状態管理の効率化が可能

IoT向け運用管理

IoTの稼動状況を見える化し、ファームウェアのアップデートやパスワードの設定・変更などセキュリティ対策を支援します。

- デバイスの全体状況をふかんに把握
- セキュリティ対策などの一括設定
- 不具合デバイスの特定など稼働管理効率化

管理パスワードの状態をふかんに可視化し、問題ある監視カメラを特定可能

全体表示例
マップ表示例
デバイス情報表示例

課題	IoT化によって脆弱性や不正アクセスが心配だが、既存業務に影響を与える対策はできない
対策	後付アプライアンスでセキュリティ対策が可能

OT向けセキュリティ対策アプライアンス

新たなソフトウェアを導入せずに、未登録のPCの接続やUSBの不正使用によるセキュリティインシデントを防止します。

NX NetMonitor
未登録PCの接続を検知し、未登録機器のみを排除

未登録PC

USBメモリの使用を検知・抑止

生産管理サーバ IoT機器
NX UsbMonitor

特長

- 現場のさまざまな設備や機械の状況を一元的に見える化し、ヒューマンエラーの削減と、管理負担の軽減を実現
- 既存システムに追加導入して、不正接続機器のLAN接続を検出しネットワークから排除します
- さまざまな機器のUSBの適切な利用を徹底し、不正USBメモリ経由のウィルス侵入や情報漏えいを防止します